



クイナ

クイナ科〈冬鳥〉全長 29cm
水辺近くの良く茂った草原やヨシ原の中
にいることが多い。全身茶褐色で腰から下腹
にかけて白と黒の縞模様がある。目立たず、
しかも警戒心が強いので姿を見ることが難
しい。【絶滅危惧Ⅱ類】



オオバン

クイナ科〈冬鳥〉全長 39cm
全身が黒く、くちばしと額が白い。新河岸
川などで見られ、首
を前後しながら泳い
だり潜ったりする姿
が人気。足は「弁足」
といい、指に水かき
の役目の膜がある。



弁足(足の指に膜がある)



イカルチドリ

チドリ科〈留鳥〉全長 21cm
川原の砂礫地に集団でいることが多いが、
羽の色が背景の砂礫にとけ込んで慣れるま
で見つけにくい。よく似たコチドリよりも
少し大きく、黄色のアイリングが細いので
目つきが鋭く感じられる。【準絶滅危惧】



コチドリ

チドリ科〈夏鳥〉全長 16cm
砂礫地や砂泥地などで地上に砂礫を集めて
営巣する。黄色のアイリングがくっきりと
目立つ。営巣中に敵や人が近づいたとき、
わざと傷ついたふりをして、巣から注意を
そらす偽傷行動が知られている。